

ファイブ・スペシャリティ

# 空調用水処理剤で攻勢

## 1液で4機能 第3世代品投入

### ダイヤアクアソリューションズ

三菱ガス化学グループのダイヤアクアソリューションズ(本社・東京都千代田区、浦橋亘社長)は、空調用水処理剤で攻勢をかける。新製品の総合水処理剤「コントライムM-2000」シリーズの本格展開に乗り出すもの。新製品は腐食防止・スケール防止・スライム抑制・レジオネラ菌抑制の4つの機能を有し、人体や環境への影響が少ないといった特徴がある。同社は25年近く前に業界に先駆けて総合水処理剤を発売したバイオニア。ヒドラジンを有効成分に用いた初代の製品群を第1世代、非塩素のチアソリン系化合物を用いた「コントライムM-1000」シリーズを第2世代、そして新製品を第3世代と位置づけ、事業の柱に育成する。

|              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| コントライムM-2000 | 成分とした非ヒドラジン  | 法指定物質を含まない  |
| OOシリーズは、空調用  | タイプの1液型総合水処  | 変異原性が陰性③pHは |
| 冷却水系の総合水処理   | 理剤で、従来の薬剤の短  | 5・7とほぼ中性に近い |
| 剤。窒素系化合物を有効  | 所を改良し、①PRTTR | ことから皮膚刺激性が極 |

めて弱いという画期的な特徴がある。

- また、1液で腐食防止
- ・スケール防止・スライ

ム抑制・レジオネラ菌抑制の4つの機能を発揮する。ISO14000シリーズの取得にも適している。高濃縮運転により補給水量を30〜40%と大幅に節水でき、スケールも除去できるため電力消費量を5〜15%節電できるといっても環境負荷やコスト低減に貢献する。

使用方法は、原液をそのまま薬注ポンプによって所定量を冷却塔水槽ま

たは冷却塔の配管に連続注入する。標準使用量は補給水量に対して50ppm

／以。なお、同社はソリューション型ビジネスを展開するなかで、顧客ニーズを汲み取ってM-2000に改良を加え、シリーズを深化させていく。